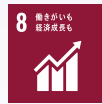


# 協力会社とともに

協力会社との活動を通じて  
問題解決を図ることで  
技術力の継続的な改善に  
取り組んでいます。



## 協力会社との活動

当社が安全に高品質な建築設備をお客さまの希望する期日までに提供するには、工事を計画・管理する当社と施工を担う多くの協力会社が一体となり、技術力と技能力を兼ね備えた協働作業が不可欠です。当社には長年の信頼関係に裏付けられた協力会社組織が各事業所にあり、そこでは専門職種ごとに分委会活動を実施しています。分委会活動のテーマは多岐にわたりますが、昨今は技能労働者の高齢化、若者の入職減にともなう人手不足に対応するための効率化・省力化工法が重要なテーマとなっています。当社は、安全・品質・コストなどの「技術力」のさらなる向上を目指し、これからも協力会社との『ものづくり』でお客さまの要望、期待に応えていきます。

## 協力会社へのアンケート調査

当社は主要な協力会社へのアンケート調査を行い、協力会社から見た当社の問題点、ならびに協力会社が抱える課題を把握することで、当社の社員教育や大元会、安全衛生協会の改善等に繋げています。

## 分科会活動 (活動内容の記録)

2019・2020年度東京大元会分科会活動は「施工効率化ツールの活用推進」をテーマとして施工効率化に有効なアイテムの抽出と実際に使用・検証することを目的に、下記4分科会を編成して活動。2020年度はコロナウイルス感染防止対策で分科会活動がかなり制約されたものの、Teamsを活用したWEB会議での開催、少人数での開催等、感染防止対策に則って活動しました。

分科会名	テーマ、主な活動
電気分科会	「小型カメラ(みるサーチミニWi-Fi)」「自動追従台車(かもーん)」「幹線ケーブルストリッパー(ムキチヨッパ)」モデル現場を特定し実際に使用と検証を実施した
空調分科会	「情報共有アプリ(+メッセージ)」大元会衛生分科会(空調)にて協力業者にiPadを貸出して、+メッセージを利用した現場運営を実施するモデル現場を特定し実際に使用してアンケート調査を実施した
衛生分科会	「ビデオ会議アプリ(Teams)」 ・Teamsによる会議4回 「上向き作業アシストスーツ(TASK AR2.0)」モデル現場を特定し実際に使用と検証を実施した ・アシストスーツを活用した現場支援(2件)
安全分科会	「ICTを用いた安全衛生活動の推進(LookCa VR)」危険体感教育実施(130名参加)

### VOICE

#### 東京大元会

東京大元会 会長  
野田工業株式会社  
代表取締役 関口 嘉之様



東京大元会は、コロナ時代を生き抜くための、デジタル革新を強く考えています。分科会活動を通して専門事業者の目線から、テーマの検討、研究、実証を重ね、現場に反映することで生産性向上のための成果物になっていると思います。また、作業員の高齢化や人手不足が進む中、省人化を図るためDXを活用した抜本的改革が必要だと思っています。今後も東京大元会各社は、Stage2030「空間価値創造」をよく考え、分科会活動を通して専門事業者として、創造、活動をしながら共存共栄が出来る会、チームダイダンとして、信頼に応えていきたいと強く思っています。

### VOICE

#### 東京本社 安全衛生協力会

東京本社安全衛生協力会 会長  
大平工業株式会社  
代表取締役 奥田 昌正様



会社と協力会の連携により、ここ数年の東京本社の労働災害発生件数は減少傾向にあります。管理者・作業者がともに早期に危険箇所を発見し、危険作業を回避していけるよう努めていきたいと思っています。2020年度は新型コロナウイルス禍の中、協力会各活動も困難を極めましたが、リモート活動を導入し活動方法を工夫してきました。新技術の開発、活用を通して品質コスト面はもちろん、安全面でさらなる労働災害が減少するよう、あくなき追及をしていきたいと思っています。東京本社安全衛生協力会はダイダン株式会社様の企業ニーズをいち早く理解・行動し、チームダイダンとして社会貢献できるよう活動していきます。

## 労働災害撲滅を目指した労働安全衛生活動の継続的な改善、向上

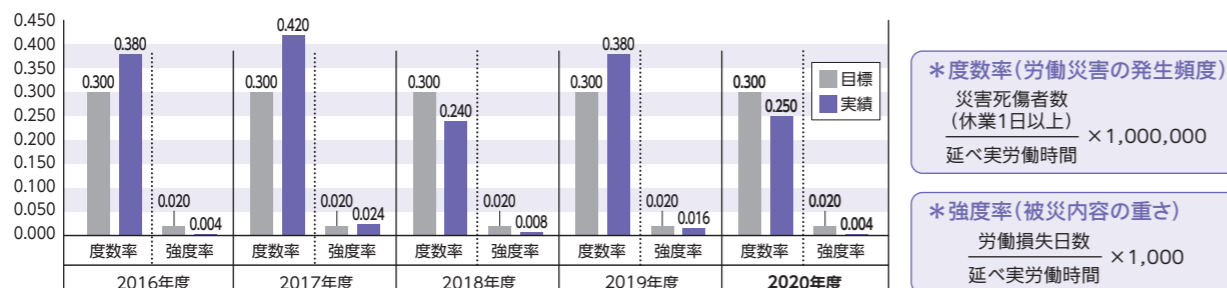
### 安全衛生方針

「安全衛生の確保」は、企業がそこで働く人々と家族や社会に対し果たすべき責務である。

ダイダンは、国籍、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、当社に働くすべての人々の「安全」と「健康」を最優先に考え、経営トップの下に全従業員が協力し、生産性の向上を図り、働きがいのある職場環境の構築に努め、社会から信頼される企業を目指す。

- 労働災害撲滅を目指して労働安全衛生マネジメントシステムを活用し、あらゆる活動における危険性、有害性を除去し、労働安全衛生活動の継続的な改善、向上に努める。
- 労働安全衛生関係法令、当社の安全衛生管理規程などを遵守し、役職員の安全衛生水準の向上、健康保持増進に取り組み、快適で働きがいのある職場づくりを目指す。
- 多様な働き方と活躍の機会を通じ、ワーク・ライフ・バランスの向上を図り、健康で豊かな生活を目指す。
- 協力会社との良好なコミュニケーションを図り、役割を明確にして、自主的に安全衛生活動の活性化を図る。
- ダイダんに働くすべての人々に対し、安全衛生方針を周知徹底するとともに、一般に公開する。

### 安全成績



## 当社の労働安全衛生に関する取り組み

### リスクアセスメントの実施

当社は、すべての現場で着工前にリスクアセスメントを実施して、作業に潜む危険有害要因の特定とその低減措置を決定し、工事の進捗にあわせて毎月見直しを図っています。

### 安全衛生管理体制

当社は、中央安全衛生委員会、事業所安全衛生委員会をはじめとした安全衛生管理体制を整備しています。事業所安全衛生委員会は、事業所ごとに組織され、労使の代表が委員を務めています。全社を統括する中央安全衛生委員会は、社長の指揮のもと、施工技術本部長が委員長を務めています。

### 長時間労働の削減への取り組み

長時間労働の削減については、各国の法令順守はもとより、計画年休制度の導入や夏季休暇、年末年始などの連続休暇の取得など対策を進めています。またi-Constructionを取り入れた生産性向上や施工効率化を推進し、ウェアラブルカメラ等を利用した遠隔パトロールも実施しています。

### 2020年度の労働災害発生状況についての評価

2020年度の労働災害の発生件数は、前年度に比べて8件減の36件(休業:4件、不休:32件)となりました。度数率と強度率においても休業災害の減少により前年度と比べて大幅に改善しました。

### 2021年度の安全衛生管理計画

2021年度は「休業災害の削減」を目標に、施工計画の抜本的な見直しや作業手順の事前検討、法令に則った安全施設の設置・整備等日常管理の遵守を徹底します。

また、ヒューマンエラー防止のため、基本動作・基本行動の徹底を図ります。2021年度は以下をポイントに挙げ、改善に向け全社で取り組んでいます。

- ① 予防型安全管理の徹底
- ② 労働時間管理の徹底と過重労働防止策の促進
- ③ 健康保持・増進策の実践、  
新型コロナウイルス感染症対策の徹底

## マイスター制度の活用と全国規模での協力会社とのパートナーシップの確立

### 協力会社との強固なパートナーシップによる確かな品質の提供

#### ダイダンマイスター制度

2011年から、現場の安全で効率的な運営および品質向上のため、協力会社の優秀な職長を確保することを目的として、職長の公正な評価と表彰を実施しています。

「マイスター」のほか、より多くの「優良職長」「上級職長」育成を行い、登録基幹技術者等の高度な資格の取得者に対する費用の補助や「マイスター」「優良職長」への当社現場での勤務に対する表彰金の支給などを行っています。

2021年7月には、資格取得において32社51名、現場貢献において131名の「マイスター」「優良職長」が表彰されました。

#### マイスターを認定

2020年12月に当社現場で従事された職長の中から766名の上級職長、19名の優良職長を新たに選出し、最も優れていると評価された6名をマイスターとして認定しました。

毎年開催していた「マイスター認定式」はコロナ禍のため取り止め、事業所毎での認定証の授与としました。

これまでに認定されたマイスターは、電気10名、配管工18名、ダクト工7名、冷媒配管工3名、保温工2名の計40名となりました。



名古屋支社でのマイスター認定証授与

#### VOICE

### マイスターの声

有限会社イーシーアール  
熊田 春夫様



令和2年度ダイダンマイスター制度による、「ダイダンマイスター」の名誉ある称号をいただきまして、感謝申し上げます。同時にマイスターとしての責任の重さに身の引き締まる思いです。

私どもの拠点である東北地区は、10年前の東日本大震災での、がれきの山から1日でも早い復旧復興をめざし、日々努力してまいりました。それらの教訓から、我々の設備業としての役割、重要性、人々の生活に欠かせないもので、地域との密接な関係性があることを改めて認識させられました。そのような中、建設工事現場は、時代とともに、日々目まぐるしく進化してまいりました。より早く、より良いものを、より正確に。高レベルの工程管理、品質管理、施工管理、そして安全管理が要求されます。新製品の機器類、新しい資材、高性能工具類、新しい施工方法など、常に新しく進化していく中、新技術の情報を理解し、より効率の良い現場作業が求められます。これら高レベルの工事管理および安全な施工ができるように、ダイダンマイスターとしての自覚を持ち、日々の業務に努めていきたいと思っています。

#### ダイダン協力会社ネットワーク

建築設備業界の環境は、人材の確保に大きな地域差があり、不安定な状況といえます。また、作業員の高齢化や引退もあり、人材不足は深刻な問題です。このような環境の中、当社では柔軟な施工体制を確保するため、作業員不足が想定される事業所に全国から人材を派遣できる、事業所の枠を超えた全国規模の「協力会社ネットワーク」を構築し、工事量増加に対応して消化する施工体制確保に活用しています。

このようなネットワークをさらに拡充し、各現場の施工体制を確保するとともに、協力会社の交流により技術力や技量を向上させる機会を増やしています。そして、安全かつ高品質な建築設備をお客さまに提供していきます。